



オリジナルのコケ玉を作る

4月24日㊤、中辺路町西谷でコケ玉作りの体験会が開催され、参加者はコケと様々な草花や容器を組み合わせて、思い思いの作品を作りました。



滝と渓谷を楽しみながら歩く

5月15日㊤、熊野地区で百間山溪谷のトレッキングがあり、26名の参加者は大小様々な滝や美しい渓谷が広がった自然を満喫していました。



晴天！潮風！
爽やかな港のまつり

4月23日㊤、新芳養漁港で芳養しおさいまつりが行われ、新鮮な海産物や農作物が並ぶ軽トラック市や、芳養湾を周遊するクルーズなどの催しが行われました。



懐かしの校舎で楽しむ1日

5月5日㊤㊦、中辺路町川合の旧二川小学校運動場で二川 1day cafe & 岩見淳三 FamilyLive が開催され、地元物産コーナーなどが立ち並んだほか、キッズダンス教室やポン菓子実演、校歌の演奏などが行われました。



語り継がれる平和への祈り

5月5日㊤㊦、龍神村殿原で戦中に墜落した爆撃機の搭乗兵を弔う慰霊祭が行われ、参加者は読経や聖歌で亡くなった搭乗兵の冥福と世界平和への祈りをささげました。



田辺の弁慶一行が平泉へ

5月3日㊤㊦、「武蔵坊弁慶」生誕の地と終焉の地と伝えられる縁で本市と姉妹都市提携を結ぶ岩手県平泉町で「第55回春の藤原まつり 源義経公東下り行列」が開催され、弁慶まつり応援団の方など13名が参加しました。

今年は、同町が世界遺産登録5周年を迎えることもあって、昨年より2000人増の23万人を超える観客で埋め尽くされる中、毛越寺～中尊寺の約4kmを総勢93名の行列が練り歩きました。沿道からは弁慶一行にも大きな声援をいただき、行列の参加者は「地域が一体となって盛り上げていて、心が温まった」と話してくれました。



南方熊楠賞 受賞を祝う

5月7日㊤、紀南文化会館で「第26回 南方熊楠賞授賞式」が行われました。今回受賞されたのは、人文部門から、明治大学野生の科学研究所所長の中沢新一さんです。中沢さんは数多くの受賞経歴があり、中でも「アースダイバー」(独自のアート感覚あふれるフィールドワークの手法を用いる取組)に関する一連の研究は受賞の大きな理由となりました。

授賞式後の記念講演では、「粘菌と華厳」というテーマで講演。全員が熱心に聞き入り、メモを取る姿も多く見られました。最後に中沢さんは「田辺が文化、精神的に発展していくことを望む。できることなら何でも協力する」と話しました。

